

コープ災害ボランティア 第31号 ネットワークニュース

2009年8月発行
東京都生活協同組合連合会
コープ災害ボランティアネットワーク幹事会
03-3383-7800

第7回 総会が開催されました

2009年7月11日(土) 13時30分より東京都生協連会館3階において、コープ災害ボランティアネットワークの総会が開催されました。総会では2008年度の活動報告、2009年度活動方針と幹事の選出について提案し、すべての議案が承認されました。また、皆さんからは議案に対して活発な意見が出され有意義な総会となりました。また、本総会では松沢資料館学芸員の杉浦秀典さんをお招きし『賀川豊彦と生協 そしてボランティア』と題し講演会を行ないました。



議案提案をする
的屋代表幹事



議長を務めた
西幹事

2009年度活動方針

- ☆コープ災害ボランティア・リーダー養成講座を進めます。
- ☆東京都生協連、他団体との協力・連携し、ボランティア活動を進めます。
- ☆コープ災害ボランティアネットワーク会員の活動の活性化を図ります。
- ☆コープ災害ボランティアネットワークに必要な活動について協議・検討を進めると共に情報の受発信に努めます。

挨拶



東京都生協連
竹内専務理事



東京災害ボランティアネットワーク
上原事務局長

☆様々な意見が出されました☆

講座で学んだ事を地域で
生かす事が出来た。
これからも多くの人に
伝えていきたい。

もっとボランティア
としての私たちの役割を
深めていきたい。

総会にもっと多くの人に
参加をしてもらえる工夫
が必要。

卒業生のスキルを高め
るためのオープン講座や
フォローアップ研修の充
実を希望する意見も出さ
れました。



【記念講演】 『賀川豊彦と生協 そしてボランティア』 講師：杉浦秀典氏 (財団法人雲柱社 賀川豊彦記念 松沢資料館学芸員)

2009年は賀川豊彦献身100年記念の年に当たります。生協の父であり、ボランティア活動の先駆者である賀川豊彦の献身的な活動を学び、これからのボランティアネットワークの活動の発展につなげるためにお話を伺いました。

賀川豊彦は1909年、神戸新川スラム街に移り住み、賀川は亡くなるまでの半世紀の間に、貧民救済、労働運動、農民運動、生活協同組合運動など人々の人格や人権が尊重される公平な社会の実現をめざしました。また、関東大震災時には、いち早く関西で援助物資を集め現地である墨田区本所にテントを張り、救援活動を始めました。賀川豊彦の思想の根幹である「友愛と相互扶助」そして「人と人が支え合い助け合い」「つながり合い」「人格を重んじ友愛をもって相手に臨む」という、賀川の普遍的なメッセージを私たちは受け取り講演会は終わりました。



2009年7月18日(土) 第9期 ボランティアリーダー養成講座がスタートしました。

2009年度 第9期ボランティアは48名の受講生を迎えスタートしました。
第1回目の講座はミニ学習とオリエンテーションやアイスブレイク、グループ交流を通して初めて会う受講生同士の仲間作りをすすめました。

あいさつ

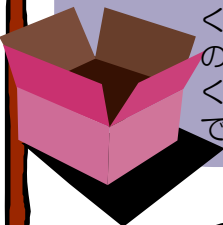
東京都生連
竹内誠専務理事の開会の
挨拶で09年度の講座が
スタートしました。



的屋代表幹事からは、
絵本「ねずみ君の誕生日」
の一節を引用し、助け合いの
大切さ、そしてこれからの講座
でたくさんのことを学んでほ
しいと挨拶がありました。

私と養成講座…そして今 中村佳子(第2期生)

地域で子育て支援の活動に関わる中村さんは講座で学んだ知識や知恵を若いお母さんたちにいつも話しています。自分が話すことでいざと言うときに自分の命、そして大切な家族の命を守るために何をしなければいけないのか、気づいてもらえることが嬉しい。皆さんも学んだ事を自分の物だけにせず、たくさんの人に伝えていってほしいと思います。



交流

自己紹介をしながら、講座に参加した動機、そして生協の災害対策について話がされました。



地域で体系的に活躍するためのノウハウを知りたい。

防災知識を得たいと思って参加。



地域の防災計画を知り、自分に出来ることをもっと学びたいと思った。



『被災者支援を通じて生協理念の社会化に向けての歩み』

東京災害ボランティアネットワーク上原泰男事務局長より、淡路・阪神大震災や三宅島噴火災害を通して、災害とはどのようなことがおき、人々はどのような状況に置かれてしまうのか、そしてその時、ボランティアの果たした役割はなんだったのか話していただきました。様々な災害に直面し、その歩みの中で共に気づき学んだ事は、①「人の命は何よりも大切にされるもの」②「人と人は支え合い助け合うもの」③「人と他者との連携と協働の中で社会的課題の解決に向かうもの」そして「集中と分散」が大切であり、この講座に集まった(集中)皆さんには卒業後は地域や職場(分散)で多くの人が講座で学んだことを伝え、一人でも多くの人の気づきにつながるメッセンジャーになってくれることを期待している上原さんのメッセージでミニ学習会は終わりました。

～アイスブレイク～ 初めて会う仲間と仲良くなろう!



初めて参加する講座…初めて会う
仲間みんなちょっと緊張!!
ストレッチで硬くなった身体をほぐしたあとは、
インタビュー!!「始めまして!!私〇〇です」「どこから来たの?」「好きなものは何ですか?」受講生同士インタビューし合ってアイスブレイクが終わるころには心も和んでみんな笑顔いっぱい!!